

特集 松浦の秋まつり

10月から11月にかけて、市の特産物のPRやまちおこしなどを目的に、各地でさまざまなお祭りやイベントが開催されました。今月号ではその中のいくつかを紹介いたします。



【第14回松浦おさかなまつり】

10月16日・松浦魚市場

(松浦魚市場協会主催)・写真①

まつりでは、鮮魚などの即売や魚のつかみどり、マグロの解体実演、魚の模擬セリなどが行われました。

魚のつかみどりには、小学生300人が参加。子どもたちは、タイやハマチなどが入った水槽に入り、笑顔で魚を追いかけました。

【第10回松浦水軍まつり】

10月30日～31日・市役所周辺

(まつり実行委員会主催)・写真②

オープニングではまつり実行委員会の小松英史会長が勇壮な武者姿で登場し開会を宣言。ステージでは、なにわブラックペツパーズによるゴスペル、髭男爵によるお笑いステージのほか、松浦よかとこ大使の選彰式、お楽しみ抽選会、物産の展示即売、YOSAKOIダンスなどが行われました。

【第17回鷹島モンゴル祭り】

11月6日・鷹島モンゴル村

(同実行委員会主催)・写真③

祭りには、日本相撲協会大島部屋の大島親方や旭天鵬関らモンゴル出身力士を招き、来場者と触れ合ったほか、保育園児によるオープニングショーやよさこい踊り、元寇太鼓演奏などで賑わいました。

【第8回コスモス畑の収穫祭】

11月7日・御厨町田代地区

(田代地区グリーン・ツーリズム研究会主催)・写真④

会場には、野菜や新米などの直売所が設けられたほか、イモもちの無料配布やフォトコンテストなどが行われ、来場者たちは、約50万本のコスモスと秋の味覚を楽しんでいました。

【第14回福島一周わいわいフェスタ2010】

11月7日・福島町

(福島陸上協友会主催)・写真⑤

イベントには、約120人が参加し、福島港バス停前をスタート・ゴールとした福島一周13・15キロのコースを、思い思いの速さで歩いたり走ったりしながらゴールを目指しました。

ゴール後、選手には食生活改善推進連絡協議会福島支部(梶原貞子支部長)から豚汁などが振る舞われました。

【第25回福島ふるさと祭り】

11月14日・福島総合運動公園一帯

(同祭り懇話会主催)・写真⑥

祭りでは、出店コーナーのほか、ステージショー、土谷浮立の披露、宝くじ抽選などが行われました。

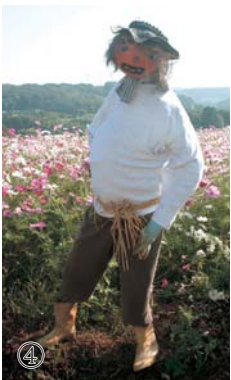
恒例の福島和船樽漕ぎ大会には、4つの部門に24チーム約160人が参加。樽漕ぎの技術とチームワークを競いました。上位の結果は次の通りです。

〈職場職域対抗〉①肥前福島釣りクラブ
②ファイヤーズ ③端壮年会

〈地区対抗〉①端 ②チーム里 ③里クラブ
〈ジュニア対抗〉①播磨釜「男組」

②伊万里釜子供会A ③伊万里釜子供会B
〈レディース対抗〉

①セブンスターズ ②ふくしま咲爛舞隊



【今福】10月15日 今福神社（写真イ）
 今福港お祭り広場での奉納演舞で披露された今福常若隊による「和一処」。今年には松浦東高の「和一処」もあり、最初で最後の今福常若隊と東高の競演に会場は盛り上がりを見せました。また今福保育園児によるマーチングや踊り、今福小学校児童によるソーラン節も披露されました。

10月から11月にかけて、無病息災と地域の発展・繁栄を願って、各地でくち行事（各神社の秋の例大祭）が行われました（取材できたもののみを掲載）。

松浦のくんち



【志佐】10月26日 淀姫神社（写真ハ）
 920年以上の歴史があり、県内で唯一伝わる流鏝馬神事。流鏝馬は五穀豊穡と安寧を祈念して執り行われる神事です。また、馬が巻き起こす風に当たると無病息災、外れた矢を拾うと良縁に恵まれるといわれています。この日は、北風が強く大変寒い中にもかかわらず多くの人が詰め掛け、矢が的に当たるたびに歓声が沸き起こっていました。

【御厨】10月17日 姫神社（写真ロ）
 御厨町内7カ所で披露された御厨蛇踊り保存会による蛇踊り。今年はずり蛇2体を新調し、初披露目の場となりました。